



富岡八幡宮

山本 健次郎

富岡八幡宮は、横浜市金沢区東富岡にある。富岡八幡公園の奥まったところ、かつて海につき出た原生林に囲まれた丘に鎮座してい

た。ご祭神は、応神天皇・比賣大神・神功皇后・蛭子尊(エビス神)・天照大神の神々である。山の幸、海の幸の守神として、代々人々の崇敬を集めてきた。ことに神社の前の海は、並木の浜と呼び、海の幸の多い漁場であった。十四世紀の始めの応長年間この付近の浜を大津波がおそい、隣村の長浜村は全滅した。然し富岡村は八幡宮の山に守られ無事であった。そのことから神社は「波除け八幡」とも呼ばれ、地元はもとより江戸内湾の漁民からも広く信仰をあつめた。

富岡八幡宮への参詣は、富岡八幡公園から表参道に入り、天保九年造(一八三八)の「阿吶の狛犬」に迎えられる。参道に登ると本殿である。本殿は大正十五年(一九二六)の造営である。寛永二年(一六二五)この一帯の領主豊嶋明重によって奉納された「縁起書」(八幡宮蔵)によると、当社は建久二年(一一九一)に頼朝が当郷鎮護のため、難波の摂津の蛭子尊の末社を勧請奉斎したという。鎌倉の北の鎮護として「安貞元年(一一二七)祭社当日一人の僧が村の民家を訪ね、白髪の翁に食を乞うた。翁は「祭礼日なので麦酒もございます」と差し上げたところ、僧は茅の葉をとりうまそうに嚼り飲み、「実はわしは八幡なり、今日よりわしを祀れば、村より悪魔を退け加護すべし」と云って消えた」このときより八幡宮をお祀するようになったとしている。

ブラウンハイム自治会
昭和60年1月

作品展
2月10日(日)
2月11日(月)
多数の出品を待っています

武蔵国久良岐郡富岡郷の地が豊嶋明重の領地となるのは文禄四年(一五九五)である。明重は家康・秀忠・家光に仕えた人物であり、江戸深川の埋立にも関係しその時、当宮に波除け祈願の後、工事が無事完了したので、深川の地に富岡八幡宮が氏神として誕生したとも伝えられている。それ以後当宮を正八幡宮と称し、江戸からも多く参拝者が訪れることになったという。当地の領主明重は、慶長十五年(一六〇九)母の病氣平癒本復を祈願し富岡八幡宮を造営した。そして寛永二年(一六二五)八月にも明重は天下泰平・武運長久・領内繁栄・嫡子宮松丸継重の無事成長を祈願し、富岡八幡宮の社殿を造営している。この時の棟札によると、地頭豊嶋主膳正明重・豊嶋宮松丸継重・それに土地のおもだちたる者として山崎徳右衛門・太胡平右衛門・野本主計助・吉川卯八郎・野本兵庫助・岡本久次郎などの名がしるされている。豊嶋明重はこの造営三年後に殿中にて刃傷をおこ

し、嫡子継重も切腹となり家は断絶している。正月の元旦の祭を「歳旦祭」といい、この日は午前0時から太鼓の合図によっておこなわれる「初神楽」を奏し、参詣の人々の新年の無事息災を祈り、新酒と甘酒をふるまうことになっている。破魔矢・絵馬・えびす・えとの一刀彫などが並べられる。当社の例大祭は七月十五日の祇園舟と九月二十五日前後の日曜日の湯立神楽である。「祇園舟」とは青茅で作った七〇センチ×五〇センチ程の舟に、折敷に小麦の粒を敷きその上に大麦の粉で作っただんごを供え、さらに麦麴で醸した甘酒をかけ、舟べりには一分十本本の御幣を立て、中央に大きな御幣を立て沖合遠く流してやるもので、十二本の御幣と青茅に一年間の罪穢を託して流してやる夏越の祓と収穫した麦を海の神にお供えして、五穀の豊穣と海の幸豊に感謝するといふ要素が一緒になった神事である。五丁櫓の奉仕舟によって行なわれ、帰路は岸まで競漕となる勇壮なお祭である。

「湯立神楽」は湯花神楽・鎌倉神楽ともいわれ、もと鶴岡八幡宮において職掌と呼ばれる人等によって奉納された神楽である。明治になり職掌が廃止になったあとは、代々これらの家々によっておこなわれてきた。当富岡八幡宮の宮司である佐野家は鶴岡八幡宮の職掌八家の一つであったことから、鎌倉時代からの伝統的な湯立神楽を引継いでいる。神楽のための大釜がある。口の直径四八センチ高さ四七センチ。釜の側面には、嘉永三年(一八五〇)八月奉納とし、世話人として、伊勢屋忠八・富岡屋清吉・富岡屋猶吉・富岡屋孫次郎・万屋文蔵と、その他江戸商人が多く名をつらねている。



昭和47年頃の並木町 提供 川村久枝

加藤武さん(二一〇五)に話を伺うと金沢区は軍の施設の多い処だった様子です。タンク爆発も青年期から数えると三回も経験され、米軍の施設のたぬ京浜富岡駅も一時は椿ヶ丘の処に移りそのため文庫との間に谷津坂の駅が一つ増えたとのことです。平潟湾は広島から持ってきたカキの養殖が行われ、マテ貝など貝類が多く取れシャコはずシャコを一匹つかまえそれをおとりに面白く取れたそうです。金沢区に移り住んで六年余りになります。新しい埋立地なのでそれ以前のことをあまりにも知らないことに気がつきました。三人の方に富岡八幡宮、並木町周辺、六浦方面についてお願いしました。子ども達のふるさとなるこの住居周辺を見直してみようではありませんか。

並木に移り住んで 川村久枝
最初に私が富岡を訪れたのは、今から二十四、五年前のこと、美しい海を描きにきたのが縁である。当時は杉田の海岸ふちで、家から水着でとび出せる所に住んでいたが、根岸湾埋立の土砂が容赦なく押し寄せ、海が消されていくのを見るのが悲しくて、遂に富岡海

岸のシーサイドコーポへ移住した。ところがである。移転直後は、やれ潮騒が耳について眠れぬなどと贅沢なことを言っていたが、再び金沢沖埋立である。白砂青松の長浜海岸、のりしびの影を落とす富岡海岸、夏になると、海の家が建ち並び、子ども達が歓声をあげていた砂浜で、べか舟が燃やされていたのである。

その昔、長昌寺辺りから長浜にかけての海岸線一帯は特に景勝の地で、慶珊寺の山門から一望すると、蒼蒼たる海原に白帆が浮かぶほかに目を遮るものはない、天地悠久の感一入の地で、ヘボン博士が、優れた海水浴場として全国に宣伝し、明治の元勳方が別荘として利用されたことも頷ける。私も子ども達を連れてよく写生に行き、一緒に描いて描いたものである。たとえキャンパスの絵は拙くても、現実の海や山の美しさに魅了され、充実感を味わうことが出来た海であり、山であった。もともと富岡は気候温暖の地で、山では花卉や果樹を始めメロンの栽培まで手がけ、メロンは静岡産のものとは比べると小さかったが、味はずっと甘かったそうである。横浜港華やかなりし頃、出船、入船のお客様方に贈る花束の需要が多かったことに着目

した青年、加藤太亮さん始め地元の高農家達は、スイートピー、フリージャ、チューリップ、カーネーション、バラ、ダリヤなどの洋花を栽培し、文字通り富む岡であった。越後のチューリップも当地から送られたと聞いている。実際に十四、五年前までは、富岡小学校周辺にも田や畑が残っていた、夏は蛸が飛び交い、蛙の合唱もにぎやかに聞こえていた所であった。海について言えば、海苔の養殖が、浅草一太森一川崎一鶴見一屏風が浦一杉田一富岡と伝わってきたのが大正十年の頃、特に熱心に海苔に取り組まれた先人が金子賢次郎さん。シーサイドコーポ辺りから長浜・小柴の方までのりしびがびっしり立っていて壮観だった。あさり、とり貝、あか貝などもたくさんとれて、十五分も掘ればバケツいっぱいになった。海の荒れたあと浜に行くとかかめも流れてくるので、拾ってきては天日に干して味噌汁に入れたもので、正に海の幸であり、私もその恩恵に浴している。

今、八幡公園になっている所も勿論海で、昔は相当泳ぎが達者でなければ、海から八幡様の端は見られなかった。というのは、今記念碑の建っている八幡様の石段下辺りから、ぐるりと

まわってプールのある辺りまで泳いでいかなければならなかったからである。海は平らのように見えても海底にはいろいろな地形があり、潮の動きもあるからいくつかの瀬があつて、その中の一つに「並木の瀬」というのがあり、この辺りの地名になったようである。横浜で生まれ横浜で育ち、横濱に住んでいる私は、本牧一三溪園一根岸一磯子一杉田一富岡と泳ぎながら南下してきたわけで、言うなればこの辺りの海は夏休みホーム・グラウンドであり、成長段階の一コマコマが埋められていく歴史的な土地でもある。

そして、今私は、釜利谷の山を削り、房総半島からも土を運び、ドボン・ドボンと埋め立てていった人間の、飽くことのない改造力に驚きながら、江戸時代の埋め立てとは比較にならない速い建設力に驚きながら、新しい街の未来を想像しながら、自然の海の美しさへの郷愁の中で生きています。昔の少女である。(二一三三〇六)

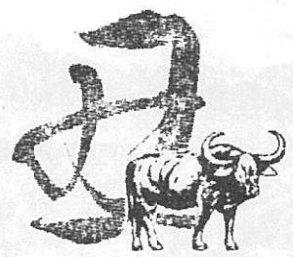
私の幼児期過ごした処 伊藤友子
私は、昭和三十年に六浦で生まれ四十三年まで野島山に近い夕照橋のそばに住んでおりました。小さい頃

はよく野島海岸に行き、潮干狩りや海水浴などをした。野島山に登ったりしました。野島山の上からは、長浦湾とか日産の試走場がすぐ下に見えました。夕照橋も以前は木の橋で古くてポロポロになり所々に子どもなら落ちそうな大きい穴があいていて海が覗けました。そして大型の車が通るとガタガタと揺れたりしたのです。休日にはハゼ釣りの人達で橋の両側が一杯になっていました。私が小学校低学年の頃、平潟湾には海苔をとるための竿、海苔しびが沢山立っていて朝その上からすが何羽も止まっているのを見ながら学校へ通いました。また、夕照橋のたもとが漁師町になっていて、漁船の行き帰りに発動機の音がボンボンと賑やかにひびいていました。でも今は、湾の殆どが埋め立てられて住宅街になっていきます。四十三年に引越してからも学校はずっと六浦にある関東学院に通っていたのでしばらくはその変化も見ていませんが卒業して以来、行く機会もありませんでした。あのあたりも随分変わったらしいので、今度は幼稚園に行っている娘を連れて私が昔遊んだ所へ行ってみたいと思っています。(二〇一三三〇一)

「今年は何年か」
十二支ってなあに。どうして順序があるのかな。べつにどうでもいいじゃない。
私は、十二支のお話を讀んだことがあります。神様が十二頭の動物を呼び、そこで順番がきまったそうだけど、ねずみは牛のせなかののって来たから一番だったんだって。ずるいなあ。本当は、牛が一番のはずなのに。どうりで少し重かったような気がします。(二一三三〇一)

「昭和六十年」 佐藤修生
約三十年前「四十八歳の抵抗」なる言葉が流行した。随分と遠い先の話のように思っていたが早いものだ。己も抵抗の年令になった。考えてみれば時代も変わってきている。コンピュータ、ソフトウエア等のハイテク時代は味気なさが隠せ

「今年は何年か」
十二支ってなあに。どうして順序があるのかな。べつにどうでもいいじゃない。
私は、十二支のお話を讀んだことがあります。神様が十二頭の動物を呼び、そこで順番がきまったそうだけど、ねずみは牛のせなかののって来たから一番だったんだって。ずるいなあ。本当は、牛が一番のはずなのに。どうりで少し重かったような気がします。(二一三三〇一)



ない。
今年のわが家は、長男が大学、次男が高校、二女が中学、末息子が小学校へ順当ならば夫々入学する。わが家も大きな時代の変り目である。
人間性の現われである喜怒哀楽という感情を豊かにして、成長して欲しいと願う。(二一三三〇五)

川上 真
今年は何年か、ぼくの年です。やりたいことがたくさんあります。勉強もできるようになりたいし、それに、たくさん遊びたいし、いそがしい年になりそうです。
のんびりだけど、がんばり屋の牛みたいに、ぼくもなりたいと思います。(二一三三〇一)

大石博史
今年は何年か、うし年なので、うしの力に負けないくらい勉強やスポーツにがんばりたい。特にスポーツでは、少年野球を一年の時からやってきたが、最後の年なのでチームの中心選手として精いっぱいがんばって良い思い出と良い成績を残したい。そして、後はいの手本となるようにしたいと思います。(二〇一三三〇一)

「今年は何年か」
十二支ってなあに。どうして順序があるのかな。べつにどうでもいいじゃない。
私は、十二支のお話を讀んだことがあります。神様が十二頭の動物を呼び、そこで順番がきまったそうだけど、ねずみは牛のせなかののって来たから一番だったんだって。ずるいなあ。本当は、牛が一番のはずなのに。どうりで少し重かったような気がします。(二一三三〇一)

住谷 一男

新年あけましておめでと
うございます。年賀状を読みながら、ふ
と考えてみると、近年私信
を殆ど書かなくなつた自分
自身に気がつきませす。便利
な電話のおかげで早口で冗
長な会話調の発想が流布し、
手紙を書く時のような物事
を深く考えたり、じっくり
言葉を楽しめる習慣から遠
ざかつていることが多いも
のです。

老いは足腰からと言いま
すが、案外それは手と頭か
らやってくるのかも知れま
せん。御用心あれ。

今年「手紙元年」の心意
気で、自らに挑戦してみよう
と決意を新たにしました。
(二一―二一―二〇三)

山口 和子

私は十二支の中でうし年
が一番好きです。うしはゆ
ったりした風貌とやさしい
目がすべてを語っていると
思います。

私の将来のゆめは中国へ
旅行することです。狭い日
本に住んでいると、雄大な中
国の風景や歴史の宝庫と云
われる莫高窟の石仏をみる
のが小さい頃からのゆめで
した。

まだかたことも中国語は
話せませんが、少しずつで
も中国語を覚えたいと思っ
ております。

今年もうしの歩みのよう
に一日一日を大切に過した
いと思ひます。
(二〇―一三―三〇二)

「私の希望と抱負」

中町 正明

今年私の丑年だ。何か
抱負、希望はなどと問われ
ても昔の私なら嬉々として
何かつまらない事を述べた
だろう。

今いい年をして何かを述
べようとすると妻は黙りこ
くり、私をじっと見るだろ
う。女がお喋りに興じてい
る時は男も心を許せるが黙
っている時程何を考えてい
るか判らない。私の弱点、
欠点を握り、どのような方
法で開陳し、痛めつけよう
と狙っているかも知れない。

だから精々今年に妻や全
ての女性にお喋りを楽しま
せる私に成長したい。それ
が私の希望であり抱負であ
る。
(二一―一―一〇五)

阿部 健一

今年もしっかりと勉強と
スポーツにがんばりたいと
思います。
(二一―一―一三〇六)

「今年の希望」

平尾 正則

本年夏に還暦(六十歳)
を迎える小生は何時も思っ
ているが、なかなか実現し
なくて歯痒い事は、へボな

「囲碁」の上達(一目強く
なる)を念願しています。
今年こそは時間に大変な
余裕が出来るのでハッスル
して囲碁三昧に耽りたい。

なお、小生はへボへボで
恥かしいが願わくば御近所
で打碁の御相手御指導下さ
れる方が居られれば幸甚の
至りです。御迷惑と存じま
すがお付合下さる方が居ら
れましたら、甚だ申訳ござ
いませぬが何時でも御連絡
をお待ち致しております。
(二〇―一三―四〇三)

牛歳、獅子座、O型とく
れば、のんびり、呑気で、
おおよお、おおらかという
感じでしょう。本当は、そ
そっかしくて、あわてん坊、
なんでもおおまかで失敗の
多いお母さんです。

今年、結婚十周年にあ
たるので、今まで以上に、
お父さんを大事にしてあげ
ようと思ひます。
(二一―一―二一三〇四)

この春、中学生になつた
らやりたい事がいくつがあ
ります。
一つ目は部活のことです。
まだ、はっきりとは決まっ
ていないんだけど、どうせ
なら運動部にはいつて一生
懸命にがんばりたいです。
二つ目は、勉強です。中

学になると英語という科目
がふえるので、今よりもも
つとがんばりたいです。
小学校生活も、あと三ヶ
月しかないのに、中学へ行
っても困らないように、勉
強に運動にせいっぱい
がんばりたいです。
(二〇―一五―五〇二)

今年、ぼくと同じ牛年
だから、かぜをひかないよ
うにして、勉強も、スポー
ツもがんばっていききたいと
思っています。
目標は、なにごととも負け
ずがんばっていくこと
です。
(二一―一―二一〇二)

「牛歩のあゆみ六十年」
布村 徳三
六十歳(古くは数え年六
十一歳)は、十干と十二支
とを組合せた六十個の記号
(甲子を第一として癸亥を
第六十とする)がひとまわ
りして再びもとにかえるこ
とから還暦と云って、赤ず
きん等を身につけてお祝し
たのですが、これらは人生
五十年と云われた頃のお祝
事で、平均寿命が八十歳に
なりつつある今日では還暦
の祝事もうすらいできてい
るのではないのでしょうか。
この六十年の前期二十年
間は終戦までの思い出があ
り、中間の二十年は戦後の
混乱期と国土開発による経

済の発展期、後期の二十年
はオイルショックの後遺症
による景気の沈滞、景気の
横ばいと云われる中で自動
車、電気機器産業界の技術
の進歩と発展には目を見張
るものがあり、特にOA機
器の進歩には著しいものが
見られる昨今です。
今年の夢、希望について
平凡ですがまず健康であり
たい。そして好きなゴルフ
を親しい友人と楽しみ、欲
ばりだが旅行にも出かけら
れるようなゆとりのある年
になればと願っています。
(二一―一三―二〇一)

「醉生夢死」
飯野 昇
先日私は埼玉のK氏が某
誌の要請を受けて寄稿した
「苗木」わがライフワーク
の一文を読みました。
原稿用紙八枚程度のもの、
この文中に「醉生夢死」の
言葉がありました。この年
になって初めて知ったこと
です。

辞典によると「これとい
うこともせず無為に一生を
過ごすこと」と書いてあり
ます。K氏は七十から醉生
夢死で終りたくないとい決意
して、個人誌を創刊、ひた
すらその発展に情熱を傾け
ているうち何時の間にか二
十年が経ち、目出度く卒寿
(九十歳)を迎えました。
私も古稀は既に過ぎたの
でこの言葉が妙に頭にこび
りついていきます。
「文は無言の師」とひそ
かに思っている次第です。
K氏の生き方は一つの指標
として自分なりに今後を考
えたいと思ひます。
ただ今まで書いたことは
柳界の一例に過ぎません。
こうした人生は各界、各層
に亘り、有名、無名は別に
して至る所に大勢いること
は言うまでもないことです。
初春に壁に構えた
牛の角
(二一―一―二一四〇二)



牛の角

一年を顧みて

自治会副会長 水野和彦
(A) 連合自治会とブラウン自治会

連合自治会は自治会相互の連絡調整を行い、地域住民の親睦と福祉を増進して「住み良い街づくり」と、「子どものふるさとづくり」をスローガンに掲げて活動しますが、その目的達成のためには、地区連や市に対して地域の意見や要望をアピールする団体であります。連合自治会が、その力を発揮する主役は住民一人一人であり、各自治会、管理組合でありますから、私達はまず身近な問題を、連合自治会に提起して対処するようにすれば、解決に辿りつきやすいでしょう。

められた道路を走らないのか？ ルールをなぜ守らないのか？... 自転車、自動車の駐輪場、駐車場の確保は？ 通勤通学者の歩行道路（富岡地区）は、なぜあんなに狭隘なのか？

各自治会と連合自治会はこれらの問題に頭を悩ませ全力を注ぎ対処しています。歩道については、スロープ十五度の自転車道と歩行者専用階段が、十二月中には何とか設置される運びとなり、不便さは幾分解消されるでしょう。

(B) 子供会と自治会
二人三脚を続けている子供会と自治会ですが、今一つ歯車が欠けているように思えてなりません。現状では、自治会の傘下に子供会があるという印象が強いが傘下でもなく、指導権下にあるわけでもありませんが、自治会青少年部会が窓口となり常に子供会を受け入れる体制はあり、又、同時に自治会行事には参加して頂くようにしています。

しかし子供会は、自治会と連携プレーする割には予算枠もなく、独自の催し、その他行事を企画するのは極めて厳しい立場にありながら、区子連、市の行事等に積極的に参加するなど、ご苦労が多いのです。これらのご苦労を知りながら無理を承知でお任せする自治会の弱体化か、一歩後退の子供会か、救済方法は？ ご意見がありましたらお伺いしたいと思います。

一九八四年度最後の大会「餅つき大会」が十二月二日（日）好天の中で盛大に行われました。

六〇キロ余りの餅米も、営業用ガス釜でバッチリ蒸し上がり、臼に投げ入れると多勢のお父さんやソフトボール男子陣の強いつき手の活躍でたちまち出来上り、釜が間に合わぬ状態でした。委員を陰ながら支え、アドバイスを下さった「幹の会」役員の皆様ありがとうございました。

十二月九日管理組合と共催で防災訓練を参加者三九八名で行いました。

防火防犯部
① その場の安全
② 火の始末
③ 隣近所の助け合い
あわてず、なるべく厚着をして、サンダルははかずに避難して下さい。

金沢土木事務所殿
「（富岡東6-132）の狭い歩道をなんとかして！」
自治会広報部より
十一月二十六日
（広報部）

副所長さん、この地番をご存知ですか？ 富岡バスターミナルから国道十六号線までの歩行者道路中間点に私有地が張り出していて、人間が一人しか通れない道幅のところですよ。

通勤・通学のラッシュ時には、歩行群衆の上り下りがこの一点でぶつかり合っ流れが止まり、車道にはみ出します。六年間、羊のように辛抱したが、もうガマン出来ない。当局は何をされていますか？ 対策は？（事務所・副所長）

① その交通事情はよく知っており、ご苦情はもつとも思っています。
② 私有地々主とは永年交渉しているが難航しています。もう少し時間がかかりますが精力的に推進します。
③ 緊急対策をやりまます。お待ち下さい。

更に本格的な対策と住民に経過を知らせてくれるよう要請したところ、当局は「ご期待に添うよう努力」とのことでした。

お誕生おめでとう
☆八月二日、二〇一
二一四〇一 豊島邦彦
ご夫妻に長男康平くんが汐見台病院で誕生。出産直後肺炎を起しましたがその後風邪も引かず手もかからずお母さん助かっています。

☆八月三日、二〇一
五一三〇二 楠信一
ご夫妻に長男昌宏くん誕生。鹿児島のお里で出産、お宮参りをすませて帰って来られました。上のお嬢さんに手がかかるので、散歩などで外気にあてたいと思いつつながら実行出来にくいとのことでした。

☆十月八日、二〇一
三二〇三 西村勲ご夫妻に次男寛之くんが誕生されました。寒さに向います。順調に発育されることを願っております。

石川美代子さん死亡
十二月五日、二〇一
二一二〇二 初代子供会々長の石川康一さんのご母堂が狭心症で六十二歳という若さで死去されました。
ご同居の長男・三男さんお淋しくなられることでしょう。 合掌

編集後記

ブラウンハイムには丑年の方が四十余名もいらっしゃいます。三十数名の方に原稿を依頼いたしました。十五名の方がご協力下さいました。特に女性は今令がはつきりすることがいやだったり、文を書きつけていないからとのお断りが多かったようです。年男年女の方いい年でありませうように。多くの方に協力いただきました「赤れんが」も今年一月・三月合併号を発行して最後とさせて頂いたいただきます。多くの方々のご協力を得ましたことを深く感謝いたしております。